

CTCS

マスターイメージ
最適化サービス

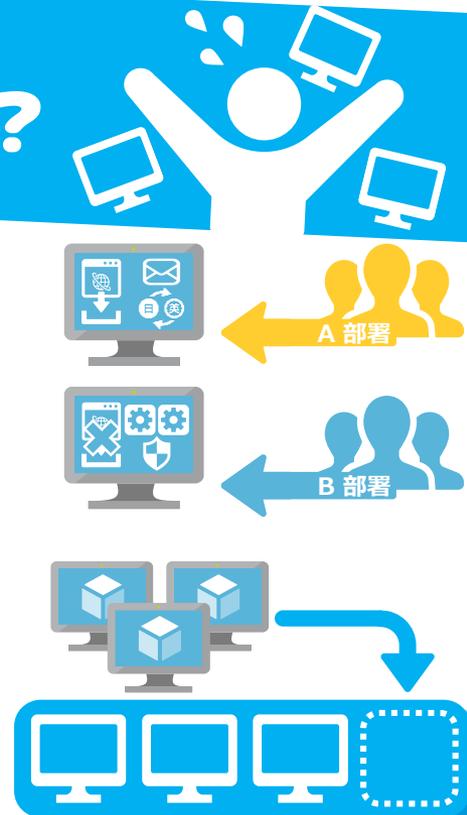


CTC System Management Corporation

増え続けるマスターイメージの 管理に苦勞していませんか？

➡ マルチログイン環境での利用では、様々な業務や部署ごとに使用する言語やアプリが異なり、細かい違いのマスターイメージが増殖していませんか？

➡ 複数のマスターイメージにて、維持管理業務や、新たな要望によるマスター作成も恒常的に発生してしまい、管理者の業務負荷が増大していませんか？



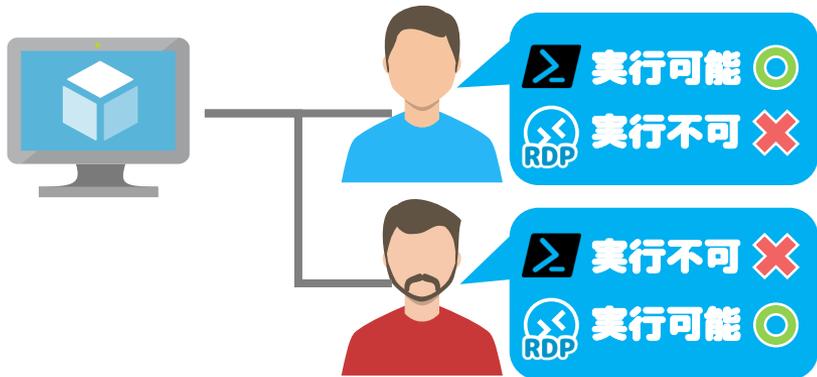
WVDマスターイメージ最適化ではWVD設定や各種ポリシーを利用する事で、細かい要望を実装し、マスターイメージを集約・共通化いたします。

最適化可能なマスター要件

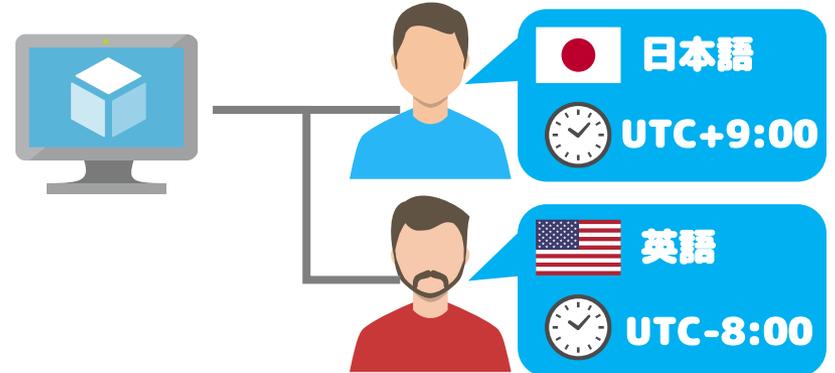
ユーザーやグループ単位での以下の様な利用要件であれば、最適化にてマスターを集約・共通化する事ができます。(各制限の併用も可能)



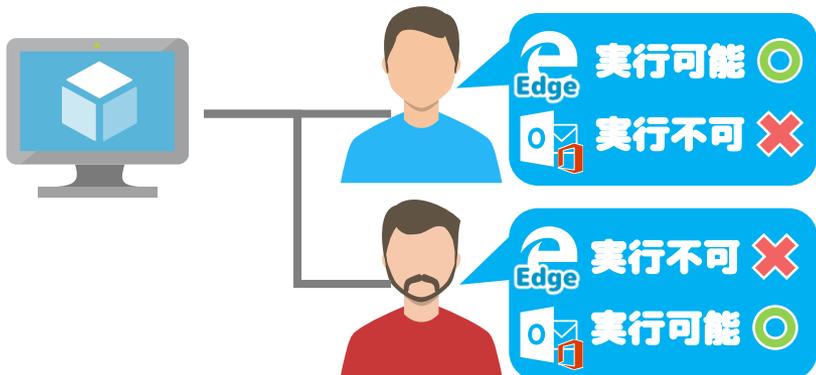
各種OS機能の利用/制限



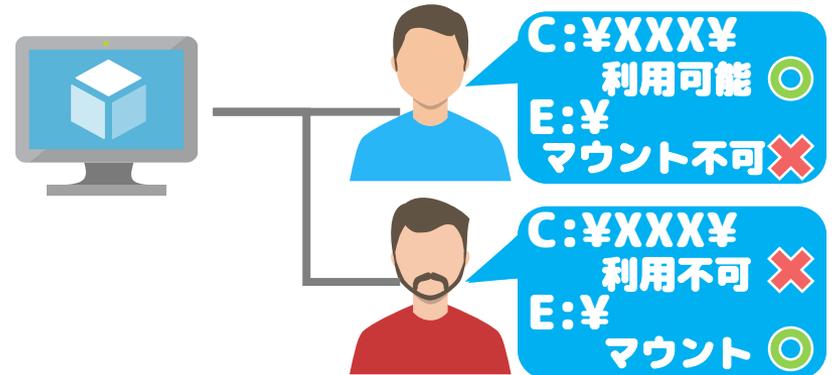
異なる言語/時刻の利用



アプリケーションの利用/制限



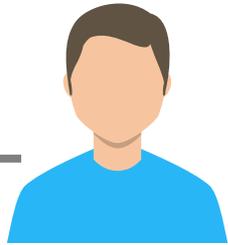
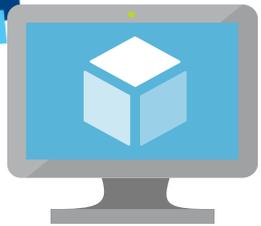
特定ドライブ/フォルダ利用/制限



※アプリケーションの仕様によっては制限できない場合がございます。

複数要件の統合的な利用も可能

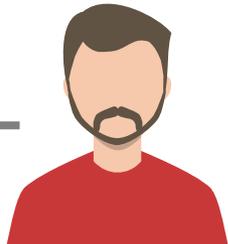
マスターイメージ向けの要件は複数要件を付与する事も可能です。
適用先も個別ユーザー、特定グループ等への適用もできます。



ユーザーA

実行可能 
RDP 実行不可 

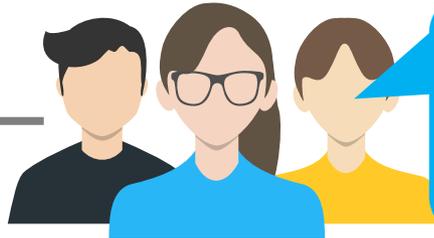
 日本語
 UTC+9:00



ユーザーB

実行可能 
RDP 実行不可 

 英語
 UTC-8:00



特定グループ

実行可能 
RDP 実行不可 

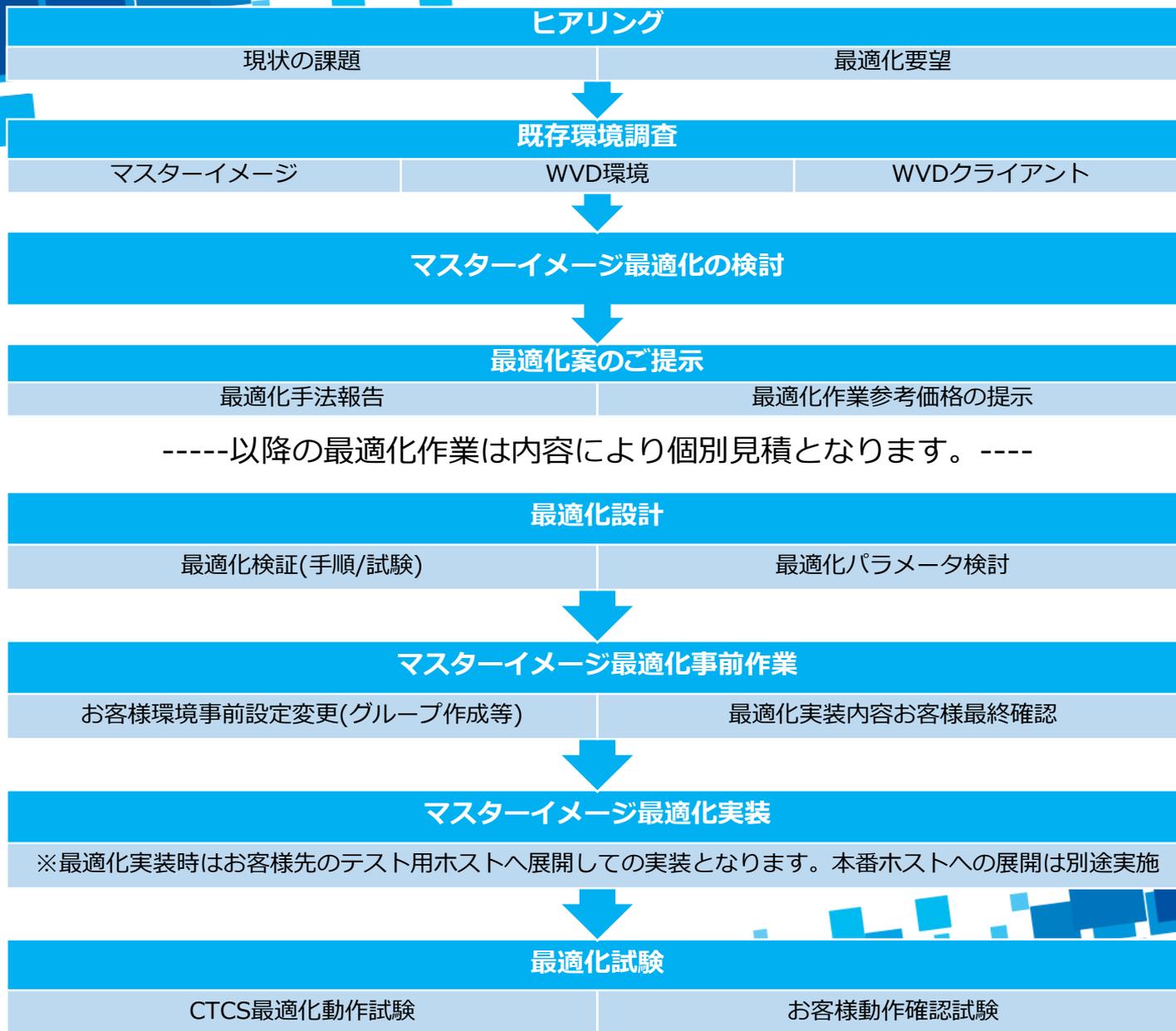
 英語
 UTC-8:00

マスターイメージ最適化手法

マスターイメージの最適化は、WVD環境に構成されている、ADやOS機能、GPO、その他ポリシー等を利用して、制限を実装いたします。必要により、お客様保有のセキュリティソフト等の機能も活用致します。

No	最適化手法	対象	概要
1	AD構成の変更	AD	ADのセキュリティグループやOU構成の見直しを行い、最適化時のGPO適用対象を構成します。
2	各種ポリシーの構成	GPO	各種GPOを利用し、OUやグループ単位にて各種許可/制限の実装を行います。
3	レジストリ	OS	GPOで直接設定が行えない場合や、マスター自体にハードコートする制限等を行います。
4	WVDプールの分割	WVD	WVD機能による利用制限を行う場合に、WVDプールを分割する事で特定グループの制限を行います。
5	Azure ADポリシーの利用	Azure	WVDへのアクセスや認証に対する制限をAzure ADの条件付きアクセスポリシー等にて行います。
6	Azure リソース等の利用	Azure	WVDからの通信制限や日時指定での停止/起動等の制限を行います。
7	お客様保有のPC管理系アプリの利用	アプリ	既存マスターやクライアントPCに導入されている既存管理アプリケーションを利用する事で、特殊な制限を行います。 ※上記アプリへの設定はお客様にて実施頂きます。
8	3rdパーティ製品の利用	アプリ	GPOやレジストリ等にて要件となる制限を行えない場合に、3rdパーティ製品の利用を検討いたします。 ※利用可能な製品が存在しない場合もございます。 ※別途製品ライセンス費用等が必要となります。

マスターイメージ最適化プロセス



マスターイメージ最適化オプション作業

マスターイメージ最適化では、最適化イメージの作成とテスト展開での動作確認後にお客様向けの各種オプション業務にて継続的に支援を行います。

No	オプション作業	タイミング	備考
1	展開作業代行	初回最適化展開時	最適化マスターから本番WVDクライアントへの再展開作業を代行
2	スクリプト正（既存スクリプト修正修）	最適化マスター作成時	最適化内容に応じた既存ログオンスクリプトやローカルスクリプトの修正 ※修正内容により費用が変動します。
3	展開作業手順書作成	初回最適化展開時	最適化マスターの各種設定の有効化/無効化、解除や展開方法の手順書 ※最適化内容により費用が変動します。
4	最適化マスターメンテナンス簡易レクチャー	最適化マスター作成後	最適化マスターに関する操作方法に関して、2時間程度の打合せ型式にてお客様担当者へ説明いたします。
5	最適化マスターメンテナンス詳細レクチャー	初回最適化展開前	最適化マスターの詳細や展開方法に関する操作レクチャーを実施 ※展開手順書作成とセットで実施
6	最適化マスター初期Q&A支援	最適化後1か月	最適化手法に関するQ&A
7	最適化マスター定期更新代行	年間契約	最大 年6回更新作業

マスターイメージ最適化前提条件

- 提示物として最適化実施済みWindows 10マスターイメージ、および最適化内容/試験結果をまとめた報告書を提示いたします。
- 管理業務は弊社作業に対してのみ行い、弊社作業の進捗および課題に関しては適宜共有させていただきます。
全体管理等のその他管理業務はお客様実施の前提となります。
- 最適化作業にあたってのお客様内調整作業（関係各社・部署調整、ユーザ使用時のユーザ調整、アカウント・ライセンス手配等）はお客様にて実施頂く前提となります。
- Windows Virtual Desktop(WVD)を実装されている環境が前提となります。
※WVDとCitrixCloud等を連携した環境も可
- マルチセッションOS用のマスターイメージである必要がございます。
※シングルセッション用イメージの場合は要相談となります。
- ドメイン(ADDS)参加されている環境である必要がございます。
- 最適化実装時は既存マスターを元に新規マスターOSを作成させていただきます。
既存マスターの変更は行いません。
- 検証や試験の為、本番環境とは異なるプール、セッションホストを作成させていただきます。
また、AD上に検証用のOU、セキュリティグループ、GPO等も作成させていただきます。
※変更用マスタコピー、確認用セッションホストの従量費が追加で発生いたします。
※要件により他のAzure リソース追加があった場合も同リソース従量費が発生いたします。
※検証用途で作成した各種リソースは、試験完了後に削除頂く事を想定しております。
※本番環境(ユーザー利用プール)での検証等は想定しておりません。
※ネットワーク制御要件がある場合、Azure上で実施可能な設定に限定し、かつ検証用に作成したリソースに対してのみ設定可能な内容のみ設定する前提となります。

マスターイメージ最適化前提条件

- ・最適化作業時には、Azure、OS、AD等の管理者権限を借用させていただきます。
また、アプリケーション動作確認等の為に、アカウント、ライセンス等が必要となる場合も併せて提供頂く必要がございます。
- ・既存アプリケーション動作確認にあたり、内容によっては動作確認項目および確認手順を提供いただく可能性がございます。
- ・既存アプリケーションの変更、再導入等は想定しておりません。
- ・最適化要望件数は、同様の手法にて実装可能な場合は複数でも1件とカウントいたします。
※同様のアプリ制限でも、制限内容が異なる場合は複数件としてのカウントとなります。
例：アプリA、アプリBがあり、グループ①、グループ②で制限を分ける場合
→アプリA、Bともにグループ①が許可、グループ②が拒否
であれば、1件としてカウントいたします。
→アプリAがグループ①が許可、グループ②が拒否
アプリBがグループ②が許可、グループ①が拒否
の場合は、ポリシー等が複数に分かれるため、2件としてカウントいたします
- ・お客様Azure ポータルやCitrix Cloudポータル等は弊社NWより接続させていただきます。
- ・お客様環境へのリモートデスクトップ接続は弊社Azure環境よりインターネット経由で接続させていただきます。（仮想デスクトップ、AD等）
※インターネットからの接続口が無い場合、お客様Azure環境上に踏み台サーバをご用意いただく可能性がございます。
※現地作業が必要である場合、費用は変動します。
- ・オプション項目の条件に関しましては別途お問い合わせください。